

(4) 2016年 熊本地震の事例（宅地擁壁被害の事例）

2016年4月14日及び4月16日に発生した熊本地震では、2回にわたる震度7の強い揺れに伴い、熊本市、益城町、西原村、南阿蘇村、大津町等において大規模盛土造成地の滑動崩落、宅地擁壁の傾斜・倒壊及び崩壊など、広範囲に数多くの宅地被害が発生した。これら被害が発生した宅地擁壁の構造の多くは、空石積造擁壁や増し積み擁壁等、技術基準を満たしていない擁壁であった。また、高さ3m以下の宅地擁壁の多くに被害が発生しているという報告もある。

出典：「橋本,松下：2016年熊本地震による被災宅地擁壁の被害分析、土木学会論文集A1(構造・地震工学),No.74,No.4(地震工学論文集第37巻), I_522- I_533,2018.」



図-1 石積造擁壁の崩壊



図-2 擁壁の崩壊



図-3 擁壁の倒壊による生活道の遮断



図-4 ブロック積擁壁の段差